



# 熊谷市 記者クラブ取材情報（予算関連）

＜速報＞  
平成30年度当初予算(案)概要  
平成30年2月14日発表

事業の名称等  
ラグビーワールドカップ推進事業

## 1 事業概要

### 【目的】

ラグビーワールドカップ2019の開催に向け、機運醸成、各種計画策定、会場整備など各種準備を推進する。

### 【内容】

大会1年前イベントなど機運醸成のための啓発諸事業を継続するとともに、大会本番に向けた輸送交通、ファンゾーン、都市装飾の実施計画を策定するほか、チケット販売やボランティア募集期間に合わせた都市装飾、ファンゾーンのテストイベント、大会本番を想定した観客輸送の実施を予定。

また、ラグビーワールドカップ2019運営基金への積立金や、「2020オリンピック・パラリンピック/ラグビーワールドカップ2019埼玉県推進委員会」、「ラグビーワールドカップ2019熊谷市準備委員会」への負担金等の交付のほか、埼玉県が熊谷ラグビー場に整備する大型映像装置の設置費用の一部を支出するなど、共同開催都市である埼玉県とともに大会に向けた準備を進める。

### 【主な使途】

- ・ファンゾーンテストイベント
- ・県推進委員会負担金  
（内訳） 事業推進経費  
仮設スタンド設置経費
- ・市準備委員会交付金
- ・大型映像装置設置に係る寄附金
- ・ラグビーワールドカップ運営基金積立金

## 2 特徴やPRポイント

ラグビーワールドカップ2019開催に向け、県推進委員会においては、更なる機運の醸成を図るため、開催500日前イベントや1年前イベントなどが計画されている。また、4月には、大会に係わるボランティアの募集が始まる予定。

## 3 その他

特になし

※ 資料の有無（ 無 ）

担当者 総合政策部 ラグビーワールドカップ2019推進室 担当 落合・日野  
連絡先 TEL 048-524-1111 内線 345



# 熊谷市 記者クラブ取材情報（予算関連）

＜速報＞  
平成30年度当初予算(案)概要  
平成30年2月14日発表

事業の名称等  
ラグビーロード整備事業

## 1 事業概要

### 【目的】

- ・ラグビーワールドカップ2019開催の取組の一環として、熊谷駅から熊谷ラグビー場入口先までの区間の道路愛称を、「ラグビーロード」とします。
- ・ラグビーロードについて、徒歩による来場者の安全性を高めるとともに、その後の活用も視野に入れた整備等を行い、大会レガシーを創出します。

### 【内容】

ラグビーロード整備事業として次の事業を実施します。

- 1 バナーが掲出可能な照明灯の新設
- 2 道路愛称名板、歩行者案内標識の新設、改修
- 3 モニュメントの設置

## 2 特徴やPRポイント

- ・本市にとって歴史的な事業であるラグビーワールドカップ2019の開催を記念するとともに、ラグビータウン熊谷としての意識高揚を図るため、市の玄関口である熊谷駅からラグビー場入口先の愛称を4月1日から『ラグビーロード』とします。

- ・『ラグビーロード』では、ラグビーワールドカップの機運醸成及び夜間の歩行者の安全性確保のため、大会バナー等が設置可能な照明灯の新設や、歩行者を案内する案内板・道路愛称板の設置、ラグビーワールドカップの開催都市、ラグビータウン熊谷であることを広くPRするモニュメントを設置します。

## 3 その他

- ・4月1日以降、「さいたま博通り」（熊谷女子高北側の末広交差点から熊谷ラグビー場入口まで）は、道路愛称として使用しません。

※ 資料の有無（ 無 ）

担当者 総合政策部 ラグビーワールドカップ2019推進室

担当 吉野・吉永

連絡先 TEL 048-524-1111

内線 346



# 熊谷市 記者クラブ取材情報（予算関連）

＜速報＞  
平成30年度当初予算(案)概要  
平成30年2月14日発表

事業の名称等  
訪日外国人おもてなし事業

## 1 事業概要

### 【目的】

ラグビーワールドカップ2019開催を控え、熊谷市国際交流協会や民間事業者と連携して、本市に訪れる外国人観光客に対するおもてなし環境を整備します。

### 【内容】

①観光ガイドの育成を行うとともに、外国人観光客とインターネットを活用したマッチング（仲介）を行い、本市の観光情報で情報誌に載っていないようなモノやコトの観光案内を行います。平成30年度内にサービスの提供を開始します。

②本市へ来訪のきっかけとなるように、（一社）熊谷市観光協会が運営する観光情報ウェブサイト「熊谷観光局」の英語ページを拡充して、情報を発信します。

③本市に訪れる外国人観光客へのおもてなし向上のため、飲食店のメニュー英語化を支援します。

### 【効果】

訪日観光拡大の好機に、ガイドの実施やメニュー英語化を通して、誘客の促進や消費を拡大させます。

## 2 特徴やPRポイント

- ・外国人観光客向け観光ガイドマッチングサービス「Huber.Tomodachi Guide」（株式会社Huber.（ハバー）提供）と県内で初めて連携します。（県外では、鎌倉市や大分市などで同事業を実施）
- ・Huber.Tomodachi Guideは、「友だちをつくることから旅を始める」をコンセプトに、通訳と観光ガイドのペアと、訪日外国人をマッチングするサービスで、旅マエから相談に乗りながら旅程を作り上げることから画一的な観光地を巡るツアーでは出来ない、地域の魅力に溢れた体験を提供します。

## 3 その他

※ 資料の有無（  有 ・  無 ）

担当者 総合政策部                      スポーツ観光課                      担当 島村、金井  
連絡先 TEL 048-524-1111                      内線 312

# 訪日外国人おもてなし事業（概要）

## 外国人観光客の集客向上のために

### ・言葉の壁

集客できても、受入体制がない。

### ・情報不足

地域の魅力や行き方がわからない。

### ・画一体験

ありきたりの観光名所巡り。

### ・インバウンド向け広告はコスト高

確立された効果的な集客手段がない。

## 解決の糸口は…

### ・言葉の壁

⇒英語を話せる人がアテンド

### ・情報不足

・インバウンド向け広告はコスト高  
⇒旅満足度を高めて、SNS等の  
口コミを誘発させる

### ・画一体験

⇒新たなニーズにいち早く気づく

## 具体的には…

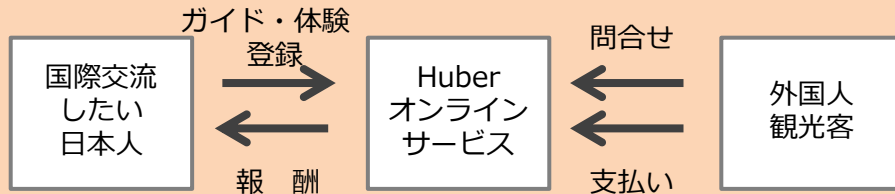
- ①外国人観光客と観光ガイドのマッチングサービス「Huber」の推進
- ②（一社）熊谷市観光協会ウェブサイト「熊谷観光局」の英語化
- ③商店や飲食店メニューの英語化支援

# ① マッチングサービス「Huber」の推進

## 実施内容

株式会社Huberによる外国人観光客と観光ガイドをマッチング「Huber」サービスと連携する。

### 【どんなサービス？】



- ①国際交流したい日本人が、**自ら自由にガイド・体験を作る。**
- ②Huberウェブサイトを見た外国人観光客が、興味を引かれたガイド・体験を作成した日本人に**旅マエから相談。自由に旅をアレンジ。**
- ③お互いに合意できれば、**予約完了・マッチング。**ローカルトリップを。

### 【どんな特徴？】

- ①**地元の人**がガイド  
⇒ ありきたりではない体験を。
- ②**2人組**でガイド  
⇒ ガイド役と通訳役でガイドする。
- ③**一緒に楽しむ**  
⇒ それがTOMODACHI、また会いたい。

## Huberと連携のメリット・効果

- ① 言葉の壁を越えて送客、旅マエからの相談で満足度の高い体験を提供することで、**リピート客を生む。**
- ② 旅マエ相談や体験中の反応から、潜在する外国人観光客のニーズを把握でき、**誘客施策にフィードバック**できる。

## Huberと観光協会の役割

### Huberの役割

- ① 潜在ニーズを調査
- ② ガイドの育成、コミュニティづくり
- ③ プロモーション開始  
コミュニティの自立自走のサポート

### 観光協会の役割

- ① ガイドリソース紹介  
(国際交流協会、市民活動団体等)
- ② ガイドコミュニティの育成・運営
- ③ コミュニティのリーダー役・舵取り

## ②熊谷観光局の英語化

### 実施内容

FIT（個人旅行）が主流となる中で、来訪のきっかけとなるように、観光情報を掲載する信用性が高いウェブサイトとして、観光協会ウェブサイトを英語化。みどころや花ごよみ等を紹介する固定ページが対象。

#### ・実施方法

国際交流協会等と連携し、ネイティブが違和感をもたない“**伝わる英語**”に翻訳。

## ③メニュー英語化支援

### 実施内容

ラグビーワールドカップ2019に訪れる外国人観光客のおもてなしを目的に、メニューの英語化を支援。

#### ・対象

市内で営業する飲食店等の店舗

#### ・重点地域

熊谷駅周辺、ラグビーロード周辺

#### ・支援方法

国際交流協会等と連携し、ネイティブが違和感をもたない“**伝わる英語**”に翻訳。

## 得られる効果

### ①外国人観光客を獲得

その国の言語に訳された情報は、魅力の理解に役立ち、誘客につながる。

### ②外国人観光客の利便性や満足度向上、消費拡大

観光協会を中心に統一感を持って英語化することで、利便性や満足度向上につながる。



# 熊谷市 記者クラブ取材情報（予算関連）

＜速報＞  
平成30年度当初予算(案)概要  
平成30年2月14日発表

事業の名称等

熊谷駅正面口駅前広場改修事業

## 1 事業概要

### 【目的】

ラグビーワールドカップ2019の開催に向けて、暑さ対策、景観及びユニバーサルデザインに配慮し、市民をはじめ、国内外からの来訪者の利便性や安全性を向上させた熊谷駅正面口駅前広場の改修工事を平成29年度から平成31年度までの期間に実施します。

### 【内容】

駅前広場全体の歩車道の舗装打替と、駅前広場及び主要地方道熊谷停車場線の歩道にシェルター及び冷却ミスト等を設置します。

### 【経緯・経過】

平成28・29年度 測量及び実施設計

平成29～31年度 改修工事

【平成30年度の主な工事：シェルター設置及び付属設備の設置】

### 【効果・影響】

ラグビーワールドカップ2019の開催に向け、本市の玄関口にふさわしい駅前広場に改修します。

## 2 特徴やPRポイント

暑さ対策、景観及びユニバーサルデザインに配慮した駅前広場にします。

- ・暑さ対策：連続シェルターの設置、冷却ミストの設置  
歩道を遮熱透水性平板に改修
- ・景観：統一性のある案内看板の設置、シェルター内に間接照明の設置
- ・ユニバーサルデザイン：タクシー乗り場のスロープ設置等
- ・その他：駅前広場内のバス、タクシー乗降所に思いやりシェルター（雨に濡れずに乗降可能とする車道側のシェルター）を設置

## 3 その他

※ 資料の有無（ **有** ・ 無 ）

担当者

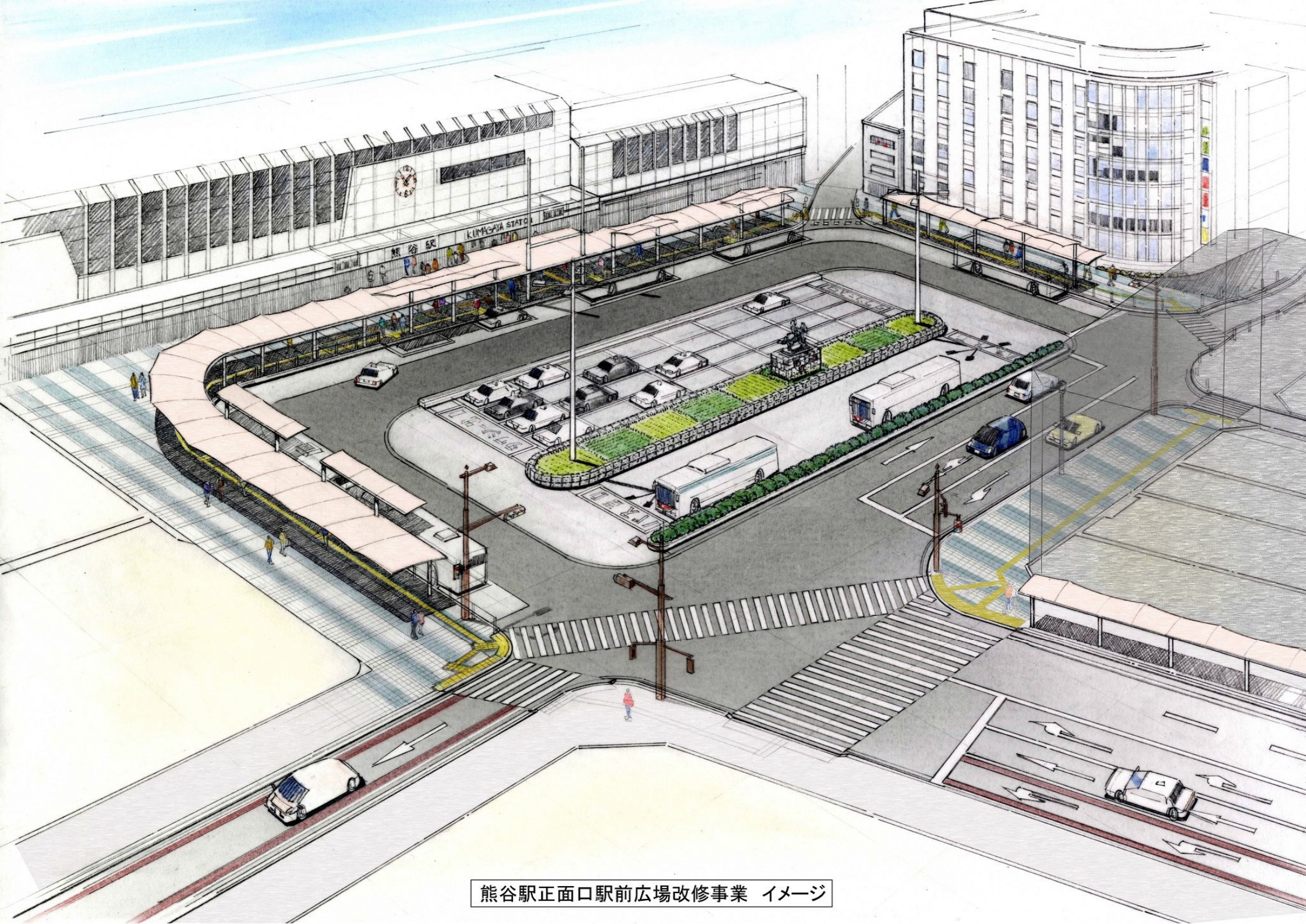
都市整備部

都市計画課

担当 島田

連絡先 TEL 0493-39-4814

内線 61



熊谷駅正面口駅前広場改修事業 イメージ





# 熊谷市 記者クラブ取材情報（予算関連）

＜速報＞  
平成30年度当初予算(案)概要  
平成30年2月14日発表

事業の名称等

熊谷駅正面口駅前広場デジタルサイネージ設置事業

## 1 事業概要

### 【目的】

ラグビーワールドカップ2019の開催に向けて、来訪者の利便性の向上を図るため、熊谷駅正面口駅前広場改修に併せ、駅前広場に多言語化に対応した案内看板（デジタルサイネージ）を設置します。

### 【内容】

多言語に対応した地図のほか、イベント、観光、バス関連などの情報を提供するユニバーサルデザインに配慮したタッチパネル式のデジタルサイネージを設置します。

### 【影響・効果】

多言語への切り替えが可能なデジタルサイネージとすることで、従来の案内看板と比べ、省スペースで、わかりやすい案内が可能となります。

また、情報の更新が容易となることに加え、画面を切り替えることで様々な情報の発信が可能となります。

地図案内に加え、観光情報やイベント情報などのほか、PR動画を表示することで、まちなかのにぎわいや回遊性の向上の一助となることが期待できます。

## 2 特徴やPRポイント

駅前広場内のその他案内看板、また別事業（歩行者案内施設整備事業）で設置予定の歩行者用の案内サインとデザインを統一することで、中心市街地全体で来訪者の利便性向上を図ります。

## 3 その他

※ 資料の有無（ 有 ・ **無** ）

担当者

都市整備部

都市計画課

担当 島田

連絡先

TEL 0493-39-4814

内線 61



# 熊谷市 記者クラブ取材情報（予算関連）

＜速報＞  
平成30年度当初予算(案)概要  
平成30年2月14日発表

事業の名称等  
熊谷運動公園施設整備事業

## 1 事業概要

### 【目的】

ラグビーワールドカップ2019の出場チームの練習会場となることを契機に、陸上競技場等を整備し、大会終了後の利用者の利便性の向上を図ります。

### 【内容】

陸上競技場インフィールドの天然芝の全面張替え、外周フェンスの入替え、排水溝の改修、給水管布設、スタンド諸室の内装（天井・内壁・床・照明）及びトイレの改修を行います。

また、選手のコンディションを整える施設として使用される予定の屋内プールのトイレ改修並びにメディアルームとして使用される予定の管理事務所のトイレ改修及び外壁塗装を行います。

### 【効果】

大会成功に向けた準備をするとともに、大会終了後においては、利用者の利便性、満足度の向上及び利用者の増加が期待されます。

## 2 特徴やPRポイント

熊谷ラグビー場で試合を行う6チームの内3チームが直前の練習会場として使用するため、各チームが最高のコンディションで試合に臨むことができるよう、万全な環境整備に取り組んでいきます。

## 3 その他

※ 資料の有無（ 有 ・ **無** ）

担当者 都市整備部 公園緑地課 担当 高橋  
連絡先 Tel. 0493-39-4806(直通) 内線



# 熊谷市 記者クラブ取材情報（予算関連）

＜速報＞  
平成30年度当初予算(案)概要  
平成30年2月14日発表

事業の名称等  
歩行者案内施設整備事業

## 1. 事業概要

### 【目的】

ラグビーワールドカップ2019開催に向けて、公共サインの表記基準やデザインの統一を図り、人にやさしいユニバーサルデザインのまちづくりを進めます。

### 【内容】

本市に訪れる観光客や市民など、すべての人にわかりやすく「まちの情報」を提供するため、平成26年3月に策定したバリアフリー基本構想に基づき、熊谷駅を中心とした重点整備地区に、ユニバーサルデザインで多言語表記の「公共サイン」を設置します。

### 【影響】

ピクトグラムや多言語表記によるわかりやすい「公共サイン」により、主要な施設への誘導や周辺の観光案内等の情報を提供でき、市民や来訪者などの利便性が向上します。

### 【効果】

市民や来訪者などの利便性の向上及び良好な景観形成の創出等が期待されます。

## 2. 特徴やPRポイント

本市が基本理念に掲げる「心つながる人にやさしいまち熊谷」を目指したユニバーサルデザインのまちづくりの推進を図るため、ピクトグラムや多言語表記によりデザインを統一します。また、歩行者を的確に誘導できるように、地図の位置表記を進行方向に合わせるなど、機能性と利便性を向上させる事に配慮して実施します。

## 3. その他

現在設置されている公共サインは、平成16年に開催された埼玉国体に合わせて設置したものです。

※ 資料の有無（  有 ・  無 ）

担当者

建設部

維持課

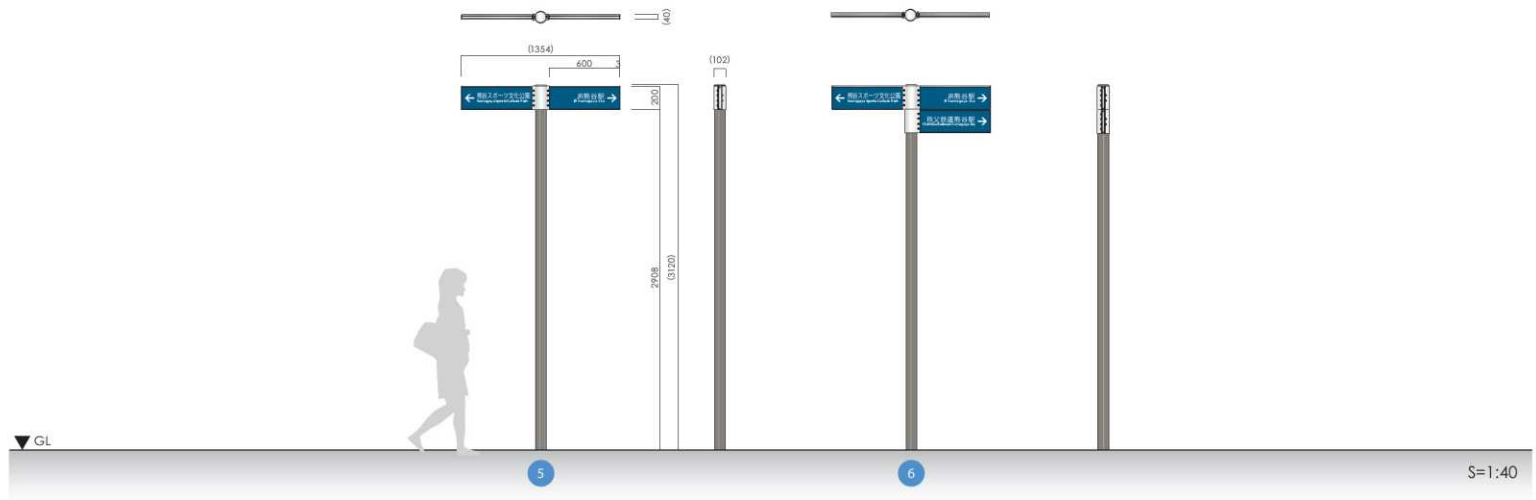
担当 田谷・野口

連絡先

Tel.048-524-1111

内線 540

公共サインデザインイメージ図 (H30.2現在)





# 熊谷市 記者クラブ取材情報（予算関連）

＜速報＞  
平成30年度当初予算(案)概要  
平成30年2月14日発表

事業の名称等

ラグビーワールドカップ2019の推進【アクセス道路網の整備】

## 1 事業概要

### 【目的】

ラグビーワールドカップ2019の輸送計画において、大会会場への主要路線及び混雑緩和路線として位置付けられている幹線道路の整備を行います。

### 【内容】

- ・市道136号線道路改良事業  
市道136号線（玉井東通線）の道路改良工事及び国道17号バイパス右折車線設置工事を実施します。
- ・第2北大通線道路改良事業  
メモリアル彩雲南側から国道407号までの区間を整備します。  
既に供用開始されている区間を除く市道101号線（東武熊谷線跡地）から国道407号までについて、用地買収及び道路改良工事を実施します。
- ・市道137号線道路改良事業  
市道137号線（第2北大通線）の道路改良事業を引続き実施します。
- ・【特別会計】上之土地区画整理事業（熊谷谷郷線・第2北大通線）  
熊谷谷郷線及び第2北大通線の整備を引続き実施します。  
道路整備、照明灯及び案内標識の設置等を実施します。

### 【効果】

ラグビーワールドカップ2019の開催会場へのスムーズなアクセスが可能となります。  
また、中心市街地の環状線として、市街地を迂回する環状機能が強化されることにより混雑緩和が図られます。

## 2 特徴やPRポイント

市長のマニフェスト「5つの基本政策」

まちを育む ラグビーワールドカップ2019の開催に向け、第2北大通線や市道136号線などの幹線道路の整備を進めます。

ラグビーワールドカップ2019の開催都市として、大会関係者や観客の皆様をお迎えするため、県と連携して熊谷谷郷線の整備を進め会場へのアクセス性の向上及び土地区画整理事業の推進を図ります。

市街地の環状線が全線開通することにより、土地利用の活性化が図られると共に都市の魅力が向上し新たな土地活用の促進が期待されます。

## 3 その他

※ 資料の有無（ **有** ・ 無 ）

担当者	建設部	道路課	担当	舟橋、岡
	都市整備部	土地区画整理中央事務所	担当	江原
連絡先	(道路課)TEL 048-524-1111		内線	352
	(中央事務所)TEL 048-527-5335			

# ラグビーワールドカップ2019 アクセス道路網の整備

「ラグビーワールドカップ2019」開催会場  
【熊谷ラグビー場(熊谷スポーツ文化公園内)】

【市道136号線道路改良事業】

熊谷西環状線

国道407号

【第2北大通線道路改良事業】

【上之土地区画整理実施事業】

国道17号バイパス

国道125号バイパス

【市道137号線道路改良事業】

JR熊谷駅

国道17号

持田IC

整備済み  
事業中  
暫定整備



©熊谷市



熊谷市

## 記者クラブ取材情報（予算関連）

&lt;速報&gt;

平成30年度当初予算(案)概要  
平成30年2月14日発表

事業の名称等

「総合戦略」不育症治療費等助成事業

### 1 事業概要

(目的・内容)

次世代育成支援の一環として、現在実施している不妊検査費助成事業及び不妊治療費助成事業に加え、平成30年度から新たに、不育症検査費用及び不育症治療費用の助成事業を開始します。

検査費用は1回限りで上限3万円を、治療費は医療保険適用外のものを対象に1年度内1回、上限30万円で通算5回まで助成します。

(経緯・経過)

厚生労働省（不育症研究班）は、2回以上の流産、死産や早期新生児死亡の既往がある場合を不育症と定義し、適切な検査と治療により不育症の80%以上が無事な出産に結びつくとしています。

治療方法は精神療法から薬物療法、手術まで多岐に渡り、一部高額な医療保険適用外治療が子どもを望む夫婦の精神的、経済的負担となっています。新たな助成事業の開始により、夫婦の負担軽減が図られ出産の効果が期待されるとともに、少子化対策の推進や子育て支援の充実が、より一層図られることとなります。

また、不育症検査費助成は、早期検査が適切な治療につながる効果を期待し、埼玉県が平成30年度から開始する事業に市が参加するものですが、不妊検査費助成と同様、県設定の助成限度額（2万円）に1万円を上乗せする充実した助成内容としています。

### 2 特徴やPRポイント

埼玉県内において現在、不育症治療費助成事業を実施している自治体（長瀨町、横瀬町）に比較し、本市の補助率（10/10）及び助成額上限30万円の設定は非常に充実した内容となっています。また、検査費助成額についても県が示す助成限度額（2万円）に上乗せして助成するのは、現時点で本市のみとなっています。

### 3 その他

※ 資料の有無（ 有  無  ）

担当者 市民部 健康づくり課 担当 根岸  
連絡先 TEL 048-528-0601 内線 ー



# 熊谷市 記者クラブ取材情報（予算関連）

＜速報＞  
平成30年度当初予算(案)概要  
平成30年2月14日発表

事業の名称等  
放課後児童保育室整備事業

## 1 事業概要

### 【目的】

新たに児童クラブを整備することで、保護者が就労等により昼間家庭にいない児童の健全育成と保護者の就労等の支援を図ることを目的としています。

### 【内容】

平成30年度において待機児童の発生が予想される小学校区と閉園後の吉岡幼稚園を改修し、児童クラブを整備します。

(仮称) 第4 東児童クラブ (定員40人) 開設予定平成30年 9月 余裕教室活用  
(仮称) 第2 新堀児童クラブ (定員40人) 開設予定平成31年 4月 新設  
(仮称) 吉岡児童クラブ (定員30人) 開設予定平成30年10月 閉園後幼稚園改修

### 【効果】

3施設で計110人分の入室可能児童数を創出することにより、待機児童を減らすとともに保護者の就労等を支援する環境を整備します。

## 2 特徴やPRポイント

待機児童の解消に向けて、平成27年度から計画的に、整備する児童クラブ数を拡充し、定員の増加を推進しています。

### ○整備状況

平成27年度 3クラブ (第3東(30人)、第4石原(40人)、第2別府(40人)) 計110人  
平成28年度 4クラブ (第2江南南(30人)、成田(30人)、南(30人)、佐谷田(30人)) 計120人  
平成29年度 4クラブ (第2大幡(15人)、第5石原(40人)、第3玉井(40人)、久下(30人)) 計125人  
前倒し整備予定 (第2箱田B(30人)、第2籠原B(35人))

## 3 その他

※ 資料の有無( 有 ・  無 )

担当者 福祉部 保育課 担当 小林 禎広  
連絡先 TEL 048-524-1131 内線 301





# 熊谷市 記者クラブ取材情報（予算関連）

＜速報＞  
平成30年度当初予算(案)概要  
平成30年2月14日発表

事業の名称等  
夏休み児童クラブ拡充事業

## 1 事業概要

### 【目的】

保護者が就労等により昼間家庭にいない児童の健全育成と保護者の就労等の支援を図るため、通年開設の児童クラブの整備に加え、特に保育需要の高まる夏季休業期間中において児童を受入れます。

### 【内容】

夏季休業期間中に児童クラブを利用しない在籍児童がいることから、この人数に対応して、夏季休業期間限定の入室を希望する児童の受入を行います。

また、特に夏季休業期間の利用希望の高い小学校区(熊谷東小学校、熊谷南小学校を予定)は、学校教室を一時借用し、臨時に支援員を増員して夏季休業期間限定で児童クラブを開設します。

### 【効果】

保育需要に弾力的に対応し、児童の健全育成及び保護者の就労等を支援する環境を整えます。

## 2 特徴やPRポイント

近年児童クラブの対象が小学6年生までとなったことに伴い、夏休みだけの保育を希望する方も増えているため、こうした多様なニーズに対応するための事業です。

## 3 その他

※ 資料の有無( 有 ・  無 )

担当者 福祉部

連絡先 Tel 048-524-1131

保育課 担当 小林 禎広

内線 301



# 熊谷市 記者クラブ取材情報（予算関連）

＜速報＞  
平成30年度当初予算(案)概要  
平成30年2月14日発表

事業の名称等  
「総合戦略」奨学金利子支援事業

## 1 事業概要

### 【目的】

大学等卒業後の若年層に対し、奨学金返済の負担軽減を図り、本市への転入・定住を促進することを目的とします。

### 【内容】

奨学金を返済する若年者に対し、就労し市内に在住することを条件に、最長10年間、奨学金の利子に相当する額の給付金（年間上限3万円）を支給します。

給付対象奨学金 日本学生支援機構第二種奨学金等

### 【資格】

- ①申請時に本市に住民登録がある方
  - ②奨学金の貸与を受け、大学・短期大学・専修学校専門課程等を修了している方
  - ③40歳未満の方（申請年度の翌年度4月1日現在）※28・29年度に支給決定を受けた方は除く
  - ④申請時に奨学金の返還期間が10年以上ある方 ※28・29年度に支給決定を受けた方は除く
  - ⑤就労している方
- などの要件を満たしている方

### 【給付期間】

最初に支給決定された年度から10年度間

### 【申請期間】

平成30年10月1日から平成30年12月21日

## 2 特徴やPRポイント

平成28年度からの3年目の事業となりますが、社会人として結婚・出産かつ産業を支える世代を対象に本市への転入促進及び定住促進対策の一つとして、引き続き実施します。

なお、平成28年度は58件、29年度は71件の申請がありました。

## 3 その他

※資料の有無（ 有 ・  無 ）

担当者 教育委員会 教育総務課 担当 鯨井・田谷  
連絡先 TEL 048-524-1111 内線 517



# 熊谷市 記者クラブ取材情報（予算関連）

＜速報＞  
平成30年度当初予算(案)概要  
平成30年2月14日発表

事業の名称等

「総合戦略」三世代ふれあい家族住宅取得等応援事業

## 1. 事業概要

### 【目的】

本事業は、親世帯と子世帯が市内に同居・近居するための住宅の新築、購入又は増改築工事に要する費用の一部を補助することにより、世代間で支え合う多世代家族の形成を推進し、高齢者の孤立防止及び子育て支援等の家族の絆の再生を図り、もって定住人口の増加に資することを目的としています。

### 【内容】

本事業は、対象者が想定以上に多く、好評であるため、内容を一部見直して平成32年度まで3か年延長いたしました。

本年度から、新築・購入は登記日から、増改築は契約日から1年以内に申請する方が対象となりますが、9月末までは従来通りの基準で申請が可能です。

### 【補助対象等】

市内で同居、又はおおむね1km以内に近居するために、住宅を新築・購入し、又は同居で500万円以上の増改築をした場合、その費用の1%を市内で使用できる商品券により補助します。上限額は、市内事業者の場合25万円、それ以外は20万円。4月2日から受付開始。

- ・ 新築・購入の場合、所有権保存又は移転登記日から1年以内  
(30年9月28日までの申請分は、平成26年1月2日以降に登記した住宅も対象)
- ・ 増改築工事の場合、500万円以上の契約日から1年以内  
(30年9月28日までの申請分は、平成26年1月2日以降に契約した住宅も対象)

### 【実績】

平成27年度	申請件数	222件、	申請額	49,989千円、	転入者数	275人
平成28年度	申請件数	176件、	申請額	38,808千円、	転入者数	197人
平成29年度	申請件数	187件、	申請額	41,155千円、	転入者数	190人

(平成30年1月末日現在)

## 2. 特徴やPRポイント

- ・ 本事業の対象者には、市外からの転入者も多く、人口増、定住促進にも効果があると考えられます。
- ・ 市で実施している「熊谷市定住人口増加のための固定資産税等の課税免除」(総務部資産税課)や「熊谷市スマートハウス補助金」(環境部環境政策課)事業と連携して申請することも可能です。

## 3. その他

※ 資料の有無( 有 ・  無 )

担当者 福祉部 長寿いきがい課 担当 茂木  
連絡先 TEL 048-524-1111 内線 271



# 熊谷市 記者クラブ取材情報（予算関連）

<速報>

平成30年度当初予算(案)概要  
平成30年2月14日発表

事業の名称等  
「総合戦略」企業誘致推進事業

## 1 事業概要

- 【目的】  
市外企業の誘致及び市内企業の事業拡大等に対する支援を行うことで、産業の振興及び雇用の促進、自主財源の確保を図ります。
- 【内容】  
「熊谷市企業の立地及び拡大の支援に関する条例」等に基づき、企業が市内で新規立地や増設等を行なった場合、投下固定資産に対する固定資産税相当額等を奨励金として交付します。また、新たに市民を雇用した場合や従業員が市内に転入した場合にも奨励金を交付します。
- 【経緯・経過】  
熊谷市産業立地促進条例が平成23年3月31日で失効しましたが、同年4月1日から新条例である「熊谷市企業の立地及び拡大の支援に関する条例」が施行されています。
- 【影響・効果】  
平成28年度は9社、平成29年度は1月末現在で7社が新規立地や増設を行い、奨励金対象企業の指定を受けました。

## 2 特徴やPRポイント

- ・市内への定住の促進を図るために、従業員へ転入奨励金を交付するのは全国でも稀です。
- ・本社機能の新設・増設に対する奨励金の交付期間を延長して交付するのは県内では本市のみです。
- ・奨励措置の内容等で、県内最高水準の支援制度となっています。

## 3 その他

- ・平成30年度からは奨励金対象業種を拡大し、『農業』、『宿泊業』、『医療』を加え、より広く産業振興と雇用促進を図ります。

※ 資料の有無( 有 )

担当者 産業振興部 商工業振興課 担当 金子、長谷川  
連絡先 TEL 524-1470 内線 505

## 熊谷市はあなたの企業を応援します！

熊谷市企業の立地及び拡大の支援に関する条例

### 【奨励内容】

事業所新設等奨励金	固定資産税相当額を操業後3年度分交付 (新エネルギーに係る環境関連企業並びに本社機能の移転については5年度分交付)
雇用促進奨励金	雇用開始後1年経過時点での市民の新規雇用常用従業員1人当たり正規雇用の場合50万円、非正規の場合20万円を1回交付 (限度額3千万円) さらに2年間(計3年)継続した場合正規雇用に限り1人当たり20万円を1回交付(限度額2千万円)
従業員転入促進奨励金(企業に交付)	市内転入した正社員1人当たり10万円を1回交付(限度額1千万円)
従業員転入奨励金(社員に交付)	市内転入した正社員に対して20万円(金券)を1回交付
太陽光発電設備設置奨励金(出力10kW以上)	出力1kW当たり35万円を1回交付(限度額5百万円)
太陽熱温水器設置奨励金(集熱面積15㎡以上)	集熱面積1㎡当たり15万円を1回交付(限度額5百万円)
雨水利用設備設置奨励金(貯留量5㎡以上)	貯留量1㎡当たり5万円を1回交付(限度額5百万円)
緑化推進奨励金 (緑地面積200㎡以上:法令等の要件を超えた部分)	緑地の設置に要した費用の額の2分の1を1回交付 (限度額1千万円)
埋蔵文化財発掘調査奨励金	発掘調査に要した費用の額の2分の1を1回交付 (限度額1千万円)

### 【奨励金対象業種】

統計法(平成19年法律第53号)第2条第9項に規定する統計基準である日本標準産業分類に定める以下の産業

○建設業      ○製造業      ○情報通信業      ○運輸業、郵便業      ○卸売業、小売業

(小売業については、都市計画法(昭和43年法律第100号)第8条第1項第1号に規定する商業地域内及び中心市街地を除き、物品等を保管することを目的とする事業所に限る。)

○サービス業

(自動車一般整備業、その他の自動車整備業、一般機械修理業(建設・鉱山機械を除く。)、建設・鉱山機械整備業、電気機械器具修理業及びコールセンター業に限る。)

#### 【新設】

○宿泊業、飲食サービス業

(旅館、ホテルに限り、風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律(昭和23年法律第122号)第2条第6項第4号に掲げる営業を営むものを除く。)

○医療、福祉

(医療法(昭和23年法律第205号)第1条の5第1項に規定する病院又は10人以上の患者を入院させるための施設を有する同条第2項に規定する診療所に限る。)

○農業、林業

(農業保険法(昭和22年法律第185号)第98条第1項第7号に規定する施設園芸を行うものに限る。)

### 【奨励金交付の要件】

- 平成23年4月1日以降に事業を開始する事業所に係る土地や建物を取得又は賃借すること
- 取得の場合は(1)、(2)、(4)のいずれかを、賃借の場合は(2)、(3)、(4)のいずれかを満たすこと
  - 投下固定資産の合計額が5000万円(その区域が中心市街地である場合にあっては、3000万円)以上であること
  - 事業所の敷地面積が2000㎡以上又は床面積が1000㎡(その区域が中心市街地である場合にあっては、100㎡)以上であること
  - 新設等のために賃借した土地及び建物の賃借料の合計額が1月当たり20万円以上であること(その区域が中心市街地である場合に限る)
  - コールセンターであって、常用従業員が50人以上の規模であること
- 製造業の事業所については、市と公害の防止に関する協定を締結していること



©熊谷市

### 【手続きについて】

事業所の事業開始の日の翌日から起算して30日以内に指定事業者の申請を行ってください。



# 熊谷市 記者クラブ取材情報（予算関連）

＜速報＞  
平成30年度当初予算(案)概要  
平成30年2月14日発表

事業の名称等

「暑さ対策」クックパッド・熊谷のページ事業



## 1 事業概要

### 【目的】

暑さに負けない体づくりを進め、熱中症搬送者数を減らすとともに、熊谷市の暑さ対策や特産品、イベント等を広く発信することを目的とするものです。

### 【内容】

日本最大の料理投稿サイト「クックパッド」に熊谷市公式キッチンを開設し、熱中症や夏バテを予防するレシピ等を掲載します。レシピは、学校給食メニューを始め、市民からの公募、市内の学校や市民団体から提供していただいたもののほか、親善大使のSHIORIさんなどが考案するメニューも掲載します。また、クックパッドのブログ機能を用いて、熊谷市の暑さ対策や特産品、イベント等もPRします。

### 【効果】

- ・日々の食事を通して暑さに負けない体をつくることができます。
- ・うどんサミットなどのイベント等を紹介することや、熊谷産の食材を使用したレシピ等を掲載することにより、市の魅力を広く発信することができます。
- ・学校給食のメニューを掲載することなどで、自宅でもそのメニューを味わうことができ、保護者に給食への興味を持っていただくとともに、給食への安心感が生まれることが期待されます。
- ・レシピの考案・応募やクックパッドに掲載されたレシピを作るなど、市民が暑さ対策に能動的に関わるようになります。

## 2 特徴やPRポイント

・クックパッド内にある官公庁や自治体などが設置している公式キッチンで、暑さ対策を主目的としたものはこれまでにありません（平成30年1月30日現在 公的機関登録数：105件）。

・本市出身のSHIORIさん提供のレシピや学校給食のレシピ、市民からの公募など、本市の力を結集したものにすることが期待されます。

・クックパッドの利用者層は、主に20～40代のため、食生活に関する知識や健全な食生活の実践面で課題の多い20代及び30代の世代に、暑さ対策を通して食育を推進することができます。

## 3 その他

暑さ対策プロジェクトチームによる提案事業です。

※ 資料の有無（ 無 ）

担当者 市長公室 政策調査課 担当 関口  
連絡先 TEL 048-524-1111 内線 369



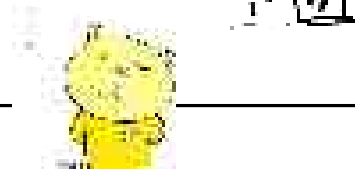
# 熊谷市 記者クラブ取材情報（予算関連）

＜速報＞  
平成30年度当初予算(案)概要  
平成30年2月14日発表

事業の名称等

「暑さ対策」熱中症予防声かけ事業

熱中症に注意  
しましょう



## 1 事業概要

### 【目的】

市内スーパー等で熱中症予防を呼びかけ、外出先での熱中症予防の啓発を強化します。

### 【内容】

スーパーやドラッグストア等で、熱中症が発生しやすい時間帯に熱中症への注意喚起を促す店内放送を行うとともに、店内に啓発ポスターを掲示するほか、熱中症予防グッズや食材などの特設コーナーを設置します。協力店舗は市報やホームページ等で公募します。

### 【効果】

- ・熱中症予防の啓発が強化され、熱中症にかかる人が減少することが期待されます。
- ・特設コーナー設置や放送での注意喚起により、各店舗で熱中症予防に関連するグッズや食材等の販売が促進される効果が期待できます。
- ・暑さ対策に積極的に取り組む店舗として、環境への配慮、地域社会への貢献という点で、店舗のCSR活動（社会貢献活動）が推進されます。

## 2 特徴やPRポイント

- ・官民が連携して熱中症予防の啓発に取り組みます。
- ・協力店舗には、「トイレの中から暑さ対策事業」で作成する熱中症を注意喚起するトイレトーパーやポスターを配布します。
- ・協力店舗は、「暑さ対策バンク事業」での紹介や「熊谷版ひと涼みアワード（仮称）事業」での表彰等を検討するなど、他の事業とも連携し、広がりを持たせるように工夫しています。
- ・熱中症で搬送される方が多い年齢層とドラッグストアの来店客の年齢層が重なる（50代以上）ため、声かけの強化が必要な年齢層に呼びかけをすることができます。

## 3 その他

暑さ対策プロジェクトチームによる提案事業です。

※ 資料の有無（ 無 ）

担当者 市長公室 政策調査課 担当 関口  
連絡先 TEL 048-524-1111 内線 369



# 熊谷市 記者クラブ取材情報（予算関連）

＜速報＞  
平成30年度当初予算(案)概要  
平成30年2月14日発表

事業の名称等

「暑さ対策」熊谷版ひと涼みアワード(仮称)事業



## 1 事業概要

### 【目的】

市民が主体となった暑さ対策を推進し、暑さ対策の裾野を広げます。

### 【内容】

「小学校委員会活動支援事業」や「地域へ発信！中学生サポーター事業」などにより、各学校等が実施している独自の暑さ対策の取組に対して、優秀なものを表彰します。

### 【効果】

・表彰制度を設けることで、各校で主体的に暑さ対策の取組が積極的に行われるようになることが期待できるとともに、活動が活発になることで児童・生徒の地球温暖化や熱中症予防等について関心を持ったり、深く学ぶきっかけづくりにもつながっていきます。

また、そうした活動を評価することで、児童や生徒のやる気ややりがいを引き出すことも期待できます。

・表彰された暑さ対策の取組をホームページ等で公開することで、様々な暑さ対策の方法が広く市民に発信されます。

## 2 特徴やPRポイント

・暑さ対策に対する表彰を行っている地方自治体は、他に例がないと思われれます。

・表彰制度を設けることで、各学校が主体となった独自の暑さ対策の実施や広がりが期待されます。

## 3 その他

暑さ対策プロジェクトチームによる提案事業です。

※ 資料の有無( 無 )

担当者 市長公室  
連絡先 TEL 048-524-1111

政策調査課 担当 関口  
内線 369





熊谷市

## 記者クラブ取材情報（予算関連）

＜速報＞  
平成30年度当初予算(案)概要  
平成30年2月14日発表

事業の名称等  
「暑さ対策」ポータルサイト開設事業

暑さ対策!!



### 1 事業概要

#### 【目的】

本市の暑さ対策のあゆみや、本市がこれまで取り組んだ施策を紹介するなど、「暑さ対策」をメインテーマとしたポータルサイトを構築します。

#### 【内容】

熊谷市ホームページの中にある「あっぱれ！熊谷流」をリニューアルし、「暑さ対策」に関する市の取組を市内外に発信します。

#### 【影響】

地方自治体では日本初となる「暑さ対策」に特化したポータルサイトを構築します。  
現在、暑さ対策の情報は「あっぱれ！熊谷流」というポータルサイトの中に含まれていますが、暑さ対策関連のコンテンツは閲覧数が多く人気があるため、リニューアルを通して、市ホームページのトップページに近いところに配置し、より早く、より便利に暑さ対策の情報を手に入れられるようにします。

#### 【効果】

「暑さ対策」の情報発信力を高めることで、市民や来訪者等の健康維持に資することや、雪くま等の暑さ対策関連事業の知名度の向上が期待されます。

### 2 特徴やPRポイント

- ・市ホームページのトップページから簡単にアクセスできます。
- ・官民連携・官学連携といった他団体とのコラボレーションによる取組等の広報力が強化されます。

### 3 その他

現在の「あっぱれ！熊谷流」は平成20年度に公開開始したものです。  
※ポータルサイト＝大量の情報が置かれているホームページの中で、特定の分野に限定して情報をまとめることで、利用者がその特定の分野の情報を得ることが容易になる手法です。

※資料の有無（ 有 ・ **無** ）

担当者 総合政策部 広報広聴課 担当 水沼  
連絡先 TEL048-524-1111 内線 212

&lt;速報&gt;

平成30年度当初予算(案)概要  
平成30年2月14日発表

熊谷市

## 記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等

「暑さ対策」トイレの中から暑さ対策事業

### 1 事業概要

#### 【目的・内容】

熱中症予防の啓発のため、熱中症に関する知識を印刷したオリジナルトイレットペーパーや、尿の色から体の水分量をチェックできるポスターを作成します。作成物は、公共施設のほか、駅、商業施設（平成30年度新規事業「熱中症予防声かけ事業」協力店舗）等のトイレに設置・掲示します。

#### 【経緯】

これまで多くの熱中症対策を提案・事業化してきた「熊谷市暑さ対策プロジェクトチーム」が提案し、実施に結びついた事業です。

#### 【効果】

日常生活の中で誰もが使う「トイレ」で啓発を行うことで、より熱中症に対する意識を高め、予防を習慣化することができます。

### 2 特徴やPRポイント

トイレの中での熱中症予防啓発は、県内初の取組となります。  
これまで多くの啓発事業を行ってきましたが、誰もが必ず使うトイレを啓発の場とすることで、一層幅広い世代の方への熱中症の予防効果が期待されます。

### 3 その他

※ 資料の有無（ 有  無  ）

担当者 市民部 健康づくり課 担当 森山  
連絡先 TEL 048-528-0601 内線 なし



熊谷市

## 記者クラブ取材情報（予算関連）

&lt;速報&gt;

平成30年度当初予算(案)概要  
平成30年2月14日発表

事業の名称等

「暑さ対策」籠原駅前広場冷却ミスト事業

### 1 事業概要

## 【目的】

籠原駅北口・南口に冷却ミストを設置し、籠原駅利用者に涼しさを提供する。

## 【内容】

籠原駅北口広場の整備にあわせ、一定の気象条件での噴霧など省エネにも配慮したミスト装置を設置することにより、暑い熊谷の夏に快適な涼しさを感じてもらうことができます。

## 【影響】

毎年、暑い時期になるとニュース番組等で取り上げられる冷却ミストを、高崎線の始発駅でもある籠原駅にも設置することにより、熊谷市の暑さ対策を全国にアピールすることができます。

## 【効果】

籠原駅利用者に、冷却ミスト装置による涼しさを提供します。

### 2 特徴やPRポイント

熊谷駅ばかりでなく、籠原駅も毎日多くの利用客があります。

今後、ラグビーワールドカップ2019もあり、観光等でも利用客が増えることも予想されます。籠原駅にも冷却ミスト装置を設置することにより、熊谷の暑さ対策のアピールと、利用客への涼しさの提供につながります。

### 3 その他

稼働条件 気温28℃以上、湿度70%未満、風速3m未満、降雨なし。

※ 資料の有無（ 有 ・  無 ）

担当者

環境部

環境政策課

担当 福島・伊藤

連絡先 TEL 536-1547

内線



熊谷市

## 記者クラブ取材情報（予算関連）

&lt;速報&gt;

平成30年度当初予算(案)概要  
平成30年2月14日発表

事業の名称等

市民協働「熊谷の力」地区防災計画策定事業

### 1 事業概要

#### 【目的】

自助・共助による地域防災力を高め、地域コミュニティの維持・活性化を目的として、「奈良地区防災計画策定委員会（代表 細田 茂）」との協働により、本市初となる地区防災計画を策定します。

#### 【内容】

昨年7月、自治会や自主防災組織など、地域内の24組織で「奈良地区防災計画策定委員会」を組織しました。市と協働し、地区内でチカラを合わせ、安否確認訓練や防災マップの作成を通して、災害を想定した「地区防災計画」を検討、策定するものです。市は、計画策定に関する一連の事業経費に対し、補助率4/5、40万円を上限に補助します。

#### 【影響】

住民自らで、地区の現状・課題を把握し、想定される被害への「対応」を地区計画として共有します。検討作業を通して、地域コミュニティの醸成とともに地域防災力の向上が期待されます。

#### 【効果】

「地区防災計画」は、東日本大震災を踏まえ、共助による防災活動を推進する観点から法制化された仕組み（災害対策基本法）です。地域と市の「役割分担と協力」により、本市初となる地域の防災計画を策定し、検討経過や策定ノウハウを蓄積することで、次年度以降、他地区へ活動を波及させていきたいと考えています。

### 2 特徴やPRポイント

#### 【活発な防災訓練】

現在、市内の自主防災組織は260組織、組織率は平成30年1月1日時点で約71パーセントです。（平成29年4月1日時点で国は82.7%、県は89.8%）。国・県に比べて、組織率は低いものの、地域の防災訓練は活発に展開されており、平成28年度で211回を数えます。

#### 【奈良地区では】

特に、奈良地区にあっては、「小学校区」単位で防災訓練を展開しており、防災士を中心に、避難所開設運営訓練や倒壊家屋からの被災者救出訓練など、先進的、実践的な取り組みが行われています。

### 3 その他

#### 【役割と協力】

- 地域の役割
  - ・現地調査、皆で協議・検討、計画策定と共有・更新
- 市の役割
  - ・図面・統計データ提供、他地区への周知

※ 資料の有無（ 有 ・ ○ 無 ）

担当者

市長公室

危機管理室

担当 松岡、森田

連絡先 TEL 048-524-1111

内線 300



熊谷市

## 記者クラブ取材情報（予算関連）

&lt;速報&gt;

平成30年度当初予算(案)概要  
平成30年2月14日発表

事業の名称等

市民協働「熊谷の力」英語キッズガイド事業

### 1 事業概要

#### 【目的】

小学生から高校生までの子供たちと通訳ボランティアが、熊谷の観光やスポーツイベントに訪れる外国人観光客に観光ガイドを行い、外国人とのコミュニケーションを通して多様な価値観の醸成を促すと同時に、熊谷の歴史・文化・スポーツに親しむことができる郷土愛を持てる子供たちを育成します。

#### 【内容】

- ・熊谷うちわ祭と全国ご当地うどんサミットに合わせて、来訪した外国人に英語ができる子供と大人がペアになり、ガイド・おもてなしを行います。
- ・市民協働「熊谷の力」事業として採択された事業です。

#### 【提案・実施団体の概要】

NPO法人AEA(エーイーエー) 英語通訳プロジェクト  
 ・事業の提案及び実施は、英会話の応用力育成と外国人とのコミュニケーションを通して多様な価値観の醸成、グローバル化する社会の変化に対応する子供の育成に寄与することを目的に設立されました。

### 2 特徴やPRポイント

- ・小学生から高校生までの子供を外国人観光客とマッチングさせて英語でガイドします。

### 3 その他

※ 資料の有無( 有  無  )

担当者 総合政策部

スポーツ観光課

担当 島村、金井

連絡先 TEL 048-524-1111

内線 312



熊谷市

## 記者クラブ取材情報（予算関連）

＜速報＞  
平成30年度当初予算(案)概要  
平成30年2月14日発表

事業の名称等

市民協働「熊谷の力」心のバリアフリー講師派遣事業

### 1 事業概要

【目的】

熊谷市バリアフリー基本構想や熊谷市障がい者計画に掲げる「心つながる人にやさしいまち 熊谷」「ともに生き、ともに暮らせるまちづくり」の実現を目指し、バリアフリー化の重要性や高齢者・障害者・子育て世代等への理解促進など、心のバリアフリーの普及・啓発を図ります。

【内容】

NPO法人自立生活センター「遊TOピア」と協働で、障害のある方等を心のバリアフリー講師として、市内小中学校等へ派遣します。

具体的には、まず講師の募集を行い、育成し、カリキュラム及び教材の作成を行った後、希望する学校等へ派遣し、授業を実施します。

【経緯】

当市では平成25年度に熊谷市バリアフリー基本構想を策定し、ハード・ソフト両面でのバリアフリー化推進に取り組んでいます。また、同時に熊谷市障がい者計画においても普及啓発を目的としたソフト事業に取り組んでいます。本事業は、これまでシンポジウムの開催や立正大学との協働によるバリアフリーマップの作成、高齢者疑似体験や車いす体験等を行ってきた取組の一環として実施します。

【影響・効果】

障害のある方と直接ふれあうことで、これまで実施されてきた疑似体験を中心とした授業に加え、障害者自身の生の声を届けることにより、当事者に寄り添った理解が進むことが期待できます。

### 2 特徴やPRポイント

本市では、平成16年の第59回国民体育大会・第4回全国障害者スポーツ大会の開催を契機に、バリアフリーのまちづくりを継続して推進してきた歴史があります。

各国から様々な方々を迎えることになるラグビーワールドカップ2019の開催は、そうしたまちづくりの取組の延長上で、多様性や調和の重要性を認識し、共生社会への理解を育む絶好の契機となります。

### 3 その他

協働事業者：NPO法人自立生活センター「遊TOピア」

※ 資料の有無（有 ・  無）

担当者

福祉部

障害福祉課

担当 本堂 彰

連絡先 Tel

内線 288



熊谷市

## 記者クラブ取材情報（予算関連）

＜速報＞  
平成30年度当初予算(案)概要  
平成30年2月14日発表

事業の名称等

高機能消防指令センター総合整備事業

### 1 事業概要

・市民の生命、身体、財産を各種災害から守るため、老朽化した消防指令システムを更新整備し、119番通報から災害完遂までの出動車両への指令、各種情報提供及び関係機関への連絡等を一括管理・運営し安定稼働を図ります。

### 2 特徴やPRポイント

・行田市と共同運用している高機能消防指令センター設備は、市民からの119番通報を受信し、災害内容に応じて適切な車両を選定し、現場へ出動させることができる消防機関の中核となる役割を担う設備です。  
・最新システムを導入することで、情報収集の手段が増え、消防活動に有効な情報を迅速に伝達できるようになり、市民サービスの質が高まります。  
・聴覚障がい者からの119番通報には、従来の方法に加え、スマートフォンやタブレット等への対応が可能となり、通報のスピードアップや利便性の向上を図ります。

### 3 その他

※ 資料の有無（ 有 ・  無 ）

担当者 熊谷市消防本部  
連絡先 TEL 048-501-0116

指令課 担当 横山・塚田  
内線 1301



熊谷市

## 記者クラブ取材情報（予算関連）

&lt;速報&gt;

平成30年度当初予算(案)概要  
平成30年2月14日発表

事業の名称等

安全なまち推進事業(防犯カメラ設置工事)

### 1 事業概要

#### 【目的】

ラグビーワールドカップ2019開催に向けて、安心安全なまちづくりを推進するため、街頭防犯カメラを計画的に増設します。

#### 【内容】

平成29年度に引き続き、第2期工事として平成30年度も熊谷駅周辺の市街地に、10か所20基の街頭防犯カメラを新設します。

#### 【経緯】

防犯カメラは事件の早期解決とともに、犯罪の抑止に大きな効果がある反面、プライバシー等に関わることから、その設置等については慎重に検討することとしてきました。しかしながら最近では、防犯カメラ設置に向けた市民の気運が高まり、自治会や商店会等からも設置要望が出されています。

このため、まず熊谷駅周辺の市街地に計画的に街頭防犯カメラを増設することとし、平成29年度は第1期工事として、10か所20基を設置しました。

#### 【効果】

ラグビーワールドカップ2019開催に向けて、中心市街地の街頭に犯罪抑止効果のある防犯カメラを計画的に設置することにより、安全なまち熊谷をPRするとともに、大会開催時及び開催後の防犯対策として街頭犯罪等の未然防止や犯罪発生時の早期解決に大きな効果が期待できます。

### 2 特徴やPRポイント

- ・今回設置する防犯カメラはSDカード記録方式を採用し、通信費等のランニングコストが節減できます。
- ・記録画像のモニタリングは行わないこととし、犯罪捜査等に限って、画像を提供します。
- ・防犯カメラ設置箇所には「防犯カメラ作動中」の表示をして抑止効果を高めます。

### 3 その他

※ 資料の有無( 有 ・ 無 )

担当者

市民部

安心安全課

担当 防犯係 平社

連絡先

TEL048-524-1111

内線 284





熊谷市

## 記者クラブ取材情報（予算関連）

&lt;速報&gt;

平成30年度当初予算(案)概要  
平成30年2月14日発表

事業の名称等

熊谷駅南口広場公衆便所改修事業

### 1 事業概要

#### 【目的】

本市に来訪する観光客や市民に対し、誰もが利用しやすい快適なトイレ環境を提供します。

#### 【内容】

老朽化した熊谷駅南口広場のトイレを大規模改修し、全洋式化、ユニバーサルデザイン化にします。

また、多目的トイレが利用しやすくなるよう、入口の設置位置を変更します。

熊谷市の玄関口として、外観は「熊谷らしさ」を表現し、内装は清潔感ある明るいトイレとなるように改修します。

#### 【効果】

全洋式化及びユニバーサルデザイン化により、本市に来訪する観光客や市民に対し、快適なトイレ環境が提供できるようになります。

「熊谷らしさ」を表現した外観にすることにより、ラグビーワールドカップなどで来訪する観光客に対し、「熊谷市」をアピールすることができます。

### 2 特徴やPRポイント

「熊谷らしさ」を表現した外観とするため、外壁デザインとして「熊谷染」型紙のデザインの採用を予定しています。

これまで男子トイレとの共有入口であった多目的トイレの入口の位置を変更し、障害者等多目的トイレの利用者のプライバシーに配慮するとともに、全洋式化、ユニバーサルデザイン化をすることで誰もが快適に使用できるトイレ環境になります。

### 3 その他

※ 資料の有無（ 有 ・ **無** ）

担当者

環境部

環境推進課

担当 松島

連絡先

TEL 536-1570

内線



熊谷市

## 記者クラブ取材情報（予算関連）

&lt;速報&gt;

平成30年度当初予算(案)概要  
平成30年2月14日発表

事業の名称等

「温暖化対策」太陽光発電等普及推進事業

### 1 事業概要

#### 【目的】

エネルギーの地産地消、エネルギー使用の効率化等を図り、地球環境への負荷を軽減します。

#### 【内容】

太陽光発電システム・家庭用燃料電池システム・家庭用蓄電池・住宅用エネルギー管理システム（HEMS）・住宅用太陽熱利用システムを設置した方に、設置費用の一部の補助を継続します。

#### 【影響】

再生可能エネルギーの普及拡大、エネルギー使用の効率化、電力需要の制御等が図れます。

#### 【効果】

太陽光発電システムや家庭用燃料電池システムによる発電のみではなく、家庭用蓄電池による自家消費、住宅用エネルギー管理システム（HEMS）によるエネルギーの「見える化」をすることにより、省エネ意識を醸成、節電効果をもたらすとともに、課題となっている家庭部門の温室効果ガス排出の削減につながることとなります。

### 2 特徴やPRポイント

平成29年度も、同様の補助金の交付を継続して行っておりますが、再生可能エネルギー、省エネルギーシステムに対する関心は依然として高く、新築住宅に再生可能エネルギー・省エネルギー設備を設置することはもちろんのこと、既に住宅用太陽光発電システム等を導入している場合でも、家庭用蓄電池や住宅用エネルギー管理システムを導入することにより、効率的なエネルギーの使用につながることから、補助金を交付することでシステムの導入の後押しをしていきます。

### 3 その他

※ 資料の有無（ 有 ・  無 ）

担当者

環境部

環境政策課

担当 西村

連絡先 TEL 536-1547

内線



熊谷市

## 記者クラブ取材情報（予算関連）

&lt;速報&gt;

平成30年度当初予算(案)概要  
平成30年2月14日発表

事業の名称等

籠原駅北口駐車場整備事業

### 1 事業概要

#### 【目的】

籠原駅北口駅前広場の供用開始に併せ、駅前広場の長時間の駐車を抑制するため、籠原駅前市有地を駅利用者の駐車場として整備し、当分の間、送迎用有料駐車場（短時間の駐車は無料）として活用します。

#### 【内容】

駐車区画最大25台（うち、障害者用駐車区画1台）  
ゲート式出入り口

#### 【経緯・経過】

平成29・30年度 籠原駅北口駅前広場整備工事  
平成30年度 籠原駅北口駐車場整備

#### 【影響・効果】

籠原駅利用者の送迎用駐車場を整備して、駅前広場内の混雑緩和を図ります。

### 2 特徴やPRポイント

駅前広場内については、公共交通機関を優先とし、広場内の混雑緩和を図ります。  
また、駐車場利用者（歩行者）は、駐車場から直接駅前広場の歩道に入ることができます。

### 3 その他

※ 資料の有無（  有 ・  無 ）

担当者

都市整備部

都市計画課

担当 島田

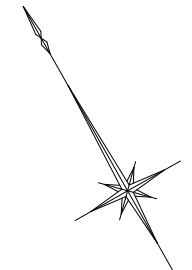
連絡先

TEL 0493-39-4814

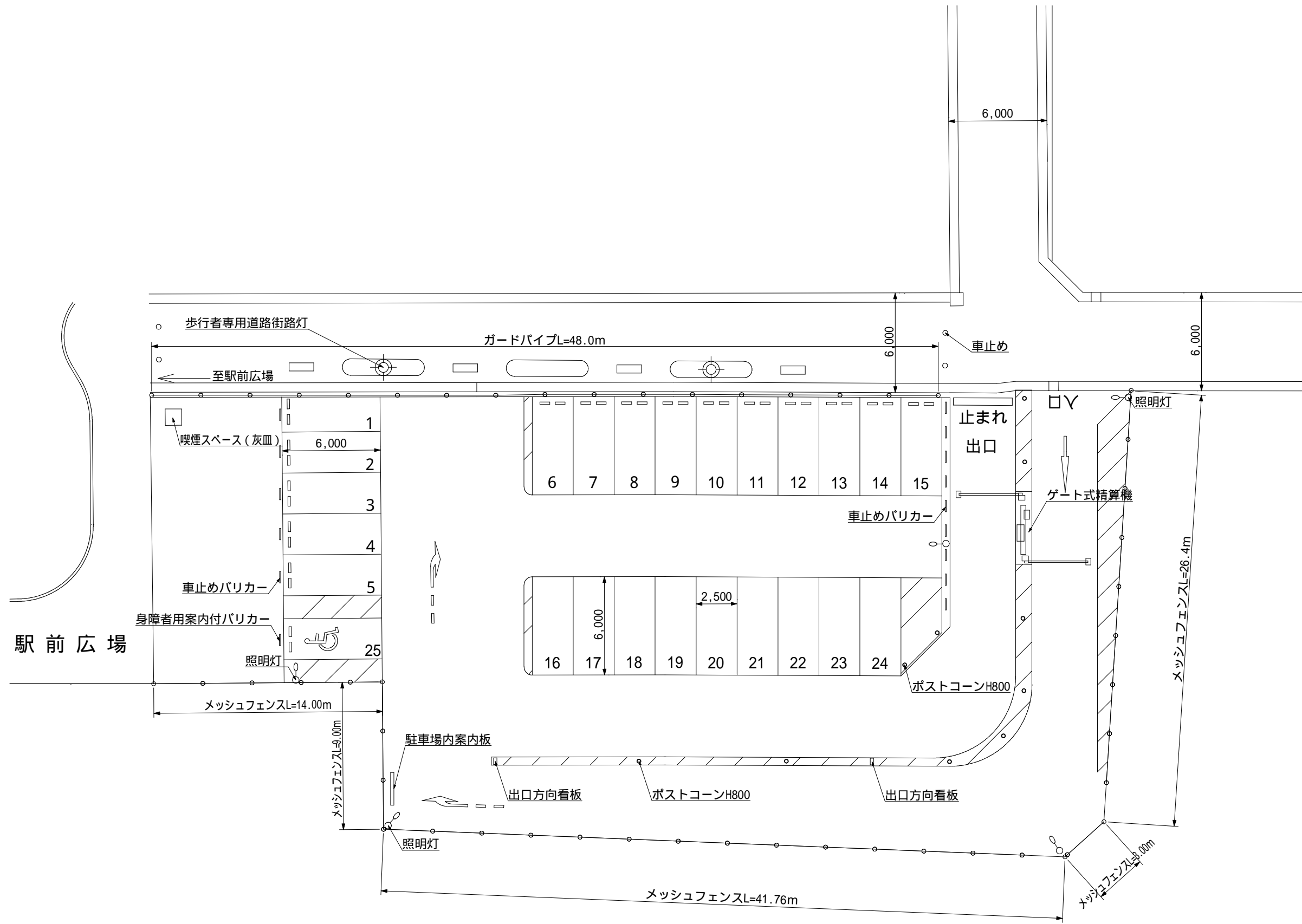
内線 61

# 籠原駅北口駐車場整備事業

# 整備計画イメージ図



1/500





熊谷市

## 記者クラブ取材情報（予算関連）

&lt;速報&gt;

平成30年度当初予算(案)概要  
平成30年2月14日発表

事業の名称等

市役所通線自転車通行環境整備事業

### 1 事業概要

#### 【目的】

市役所通線の歩道内を、自転車通行帯と歩行者通行帯に分離するとともに、バリアフリー整備及び景観整備をあわせて実施することにより、環境にやさしく、暮らしやすく、魅力ある中心市街地を目指します。

#### 【内容】

北大通線から弥生町通りまでの約600mの区間について、平成29年度は測量及び詳細設計を実施、平成30年度及び平成31年度に、歩道のバリアフリー化及び美装化と自転車通行帯の整備を行います。

平成30年度は、北大通線から国道17号までの約312mの区間について工事を実施します。

#### 【効果】

「熊谷市中心市街地における道路空間整備計画」に基づき、熊谷駅を中心とする市役所通線を含む主要な路線において、バリアフリー整備、自転車通行環境整備、景観整備の三位一体となった整備を行うことにより、安全で快適な道路のネットワーク化が図れます。

### 2 特徴やPRポイント

中心市街地内で、バリアフリー整備、自転車通行環境整備、景観整備を行うことにより、歩行者及び自転車通行の安全性・快適性・回遊性が高められます。また、現在、整備を進めている北大通線、弥生町通り、国道17号との自転車ネットワークが形成されます。

### 3 その他

※ 資料の有無(  有 ・  無 )

担当者

建設部

道路課

担当 大崎

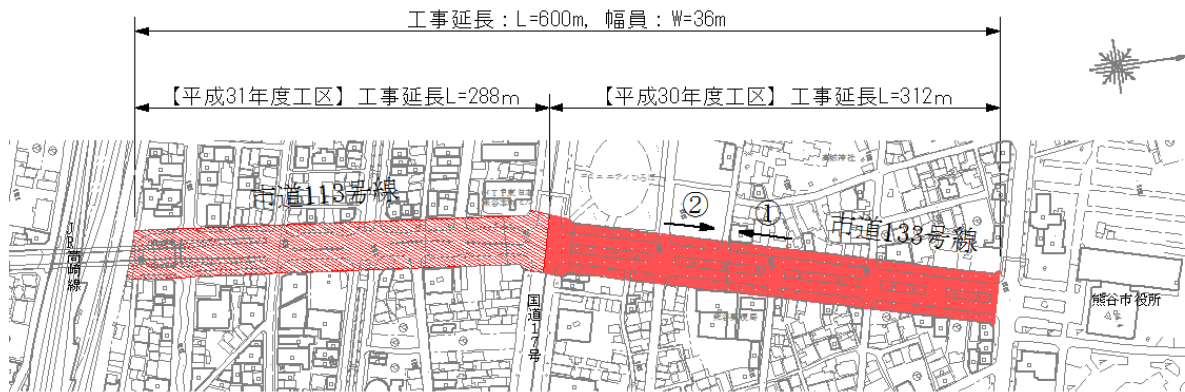
連絡先

TEL 048-524-1482

内線 350

# 道路(市役所通線) 概要

事業名：市役所通線自転車通行環境整備事業  
 事業箇所：市役所通線  
 規模：L=600m  
 事業内容：自転車通行環境整備  
 概要：現道の自転車歩行者道を、自転車通行帯と歩行者通行帯に分離する。



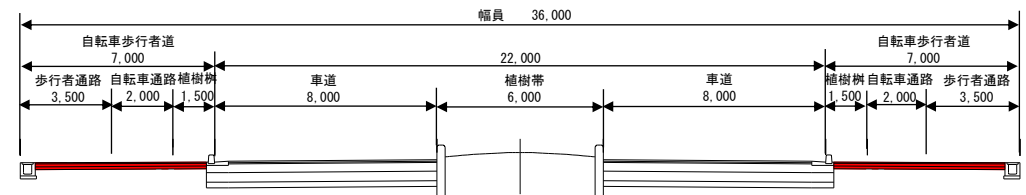
①



②



平成30年度工区  
標準断面図 (1/250)





熊谷市

## 記者クラブ取材情報（予算関連）

＜速報＞  
平成30年度当初予算(案)概要  
平成30年2月14日発表

事業の名称等  
生活道路及び排水路の整備の推進事業

### 1 事業概要

#### 【目的】

地域の利便性及び通行の安全性を考慮した生活道路の整備及び道路施設の維持管理並びに生活環境の改善を図るため排水路整備を行います。

#### 【内容】

- ・道路整備事業  
陳情・請願に基づき、地域の狭い生活道路の拡幅改良、側溝整備及び舗装新設等を実施します。  
整備箇所の選定は、「熊谷市道路整備の事業実施に関する要綱」により、必要性・緊急性を評価し、地域バランス等を考慮しながら決定します。
- ・道路維持経費  
幹線道路や生活道路の老朽化した舗装の補修、街路樹の剪定等を行います。
- ・排水路等維持管理経費  
農業用排水路を除く排水路整備や修繕及び除草等を行います。

#### 【効果】

生活道路の利便性の向上、道路冠水の解消及び適切な維持管理により良好な生活環境を創出します。また、排水路整備等により適正な流れを確保し、水路環境の改善を図ります。

### 2 特徴やPRポイント

- ・道路整備事業  
「熊谷市道路整備の事業実施に関する要綱」（道路事業評価システム）により、公平性を確保し、効果的に事業を進めています。
- ・道路維持経費  
積極的に補修や整備を行うことにより、地域の利便性の向上や安全の確保が図られます。
- ・排水路等維持管理経費  
昨年度に引き続き、防草コンクリート施工による恒久的な除草対策を講じます。

### 3 その他

※ 資料の有無（ 有 ・ **無** ）

担当者	建設部	道路課	担当	岡
	建設部	維持課	担当	田谷
	建設部	河川課	担当	石原
連絡先	（道路課） TEL 048-524-1111		内線	352
	（維持課） TEL 048-524-1111		内線	540
	（河川課） TEL 048-524-1111		内線	355



熊谷市

## 記者クラブ取材情報（予算関連）

&lt;速報&gt;

平成30年度当初予算(案)概要  
平成30年2月14日発表

事業の名称等

小学校・中学校校舎大規模改造事業

### 1 事業概要

#### 【目的】

児童生徒の教育環境の向上を図ることを目的とし、校舎の老朽化対策を行います。

#### 【内容】

校舎の老朽化対策として、外壁改修、屋上防水等の工事を校舎の経年数や劣化度等を勘案し、毎年度数校ずつ計画的に実施します。

平成30年度は次の3校（一部の校舎）の工事を実施します。

小学校（2校）・・・石原小学校・大麻生小学校

中学校（1校）・・・熊谷東中学校

#### 【経緯・経過】

学校施設については、これまで耐震化対策として、校舎の補強工事や屋内運動場の改築工事に取り組み、平成29年度をもって完了する予定となりました。

今後は経年劣化した校舎の老朽化対策に取り組みます。

なお、この事業は、熊谷市アセットマネジメント基本方針・基本計画を踏まえながら、校舎の長寿命化及び予防保全的な改修として実施します。

#### 【影響・効果】

施設の老朽化対策を図ることで児童生徒が安全で快適な学校生活を送ることができます。

### 2 特徴やPRポイント

校舎の改修により、学校施設の安全性・快適性が高まり、教育環境も向上します。

### 3 その他

※ 資料の有無（ 有 ・  無 ）

担当者

教育委員会

教育総務課

担当 岡田・田谷

連絡先

TEL048-524-1111

内線 371





熊谷市

## 記者クラブ取材情報（予算関連）

&lt;速報&gt;

平成30年度当初予算(案)概要  
平成30年2月14日発表

事業の名称等

小学校・中学校トイレ整備事業

### 1 事業概要

#### 【目的】

児童生徒の教育環境の向上を図ることを目的とし、学校トイレの整備を行います。

#### 【内容】

学校トイレの老朽化対策として、給排水管の改修、トイレの洋式化、床の乾式化等の工事を校舎の経年数等を勘案し、毎年度数校ずつ計画的に実施します。

平成30年度は、次の9校の工事を実施します。

小学校（6校）・・・熊谷西小学校・熊谷南小学校・吉岡小学校・三尻小学校  
奈良小学校・籠原小学校

中学校（3校）・・・大原中学校・三尻中学校・大里中学校

#### 【経緯・経過】

学校トイレについては、これまで大規模な改修工事を行っておらず、老朽化が顕著です。

そのため、児童生徒に対する快適性や衛生面の確保という観点からも、改修を行っていく必要があることから、計画的に整備を実施します。

#### 【影響・効果】

学校トイレは児童生徒が学校生活を送る上で欠かせない空間であり、整備を行うことで児童生徒が気持ちのよい学校生活を送ることができます。

### 2 特徴やPRポイント

これまでの汚い・臭い・暗いなどのネガティブなイメージの学校トイレを、明るく、清潔感のある空間に生まれ変わるよう整備を進めていきます。

### 3 その他

※ 資料の有無（ 有 ・  無 ）

担当者

教育委員会

教育総務課

担当 岡田・田谷

連絡先

TEL048-524-1111

内線 371



熊谷市

## 記者クラブ取材情報（予算関連）

&lt;速報&gt;

平成30年度当初予算(案)概要  
平成30年2月14日発表

事業の名称等

「総合戦略」英語教育推進事業

～「GTEC」(スコア型英語テスト)の導入～

### 1 事業概要

【目的】

- ・学力日本一を目指す熊谷市が英語力日本一も目指します（子どもたち）
- ・教員の指導力向上を目指します（教員）

【内容】

- ・市内すべての中学生がタブレット端末を活用した「聞く」「読む」「話す」「書く」の4技能スコア型英語テストGTECを無償で3年間受検し英語力の向上を図ります（中1と中2は1月～2月、中3は10月に受検予定）
- ・熊谷市教育委員会とベネッセコーポレーションが連携し、GTECの結果から具体的に指導法の改善を図るとともに、指導力向上に寄与する研修（結果分析会等）を開催します。

【効果】

- ・子どもたち全員が「話す」「書く」「聞く」「読む」全ての英語力が把握でき、スコア型なので経年で受検することによって自分自身の英語力の伸びを実感できます。
- ・技能別の改善点が明確に見えるため、より効率的に得意な技能を伸ばし、弱点の克服ができます。
- ・4技能をバランスよく身に付ける過程で、生徒一人一人がどの部分に困難さを感じているかを、テスト結果から分析し、困難さの解決に向けた具体的な手立てについて研究を進めることができます。
- ・埼玉県内の多くの高校でも、GTECを採択しており、中学で受検したGTECのスコアが高校でも使えます。

### 2 特徴やPRポイント

- ・外部機関と連携し、4技能スコア型英語テストを中学3年間無償で受検する取組は、全国初です。
- ・平成31年度の全国学力・学習状況調査に初めて英語が導入され、4技能を測るテストが実施されます。熊谷市では全国に先駆け、平成30年度から4技能を測るテストを導入します。
- ・受検後はスコアシートとともに、ネイティブの採点者が添削した答案、メッセージ、一人一人への復習教材が届きます。

### 3 その他

- ・ラウンドシステムを導入した授業で育成した英語力を継続的に検証します。
- ※ラウンドシステムを導入した授業を市町村単位で導入したのは全国でも熊谷市だけです。
- ・現在、GTECは全国340の大学入試でスコアを活用することができます。

※ 資料の有無（ 有 ・ **無** ）

担当者	教育委員会	学校教育課	担当	岡村 賢一
連絡先	TEL048-524-1111		内線	386



熊谷市

## 記者クラブ取材情報（予算関連）

&lt;速報&gt;

平成30年度当初予算(案)概要  
平成30年2月14日発表

事業の名称等

校務支援システム導入事業

### 1 事業概要

#### 【目的】

教員の働き方改革を進めるにあたり、全小中学校にICTを活用した校務支援システムを導入し、校務作業を効率化するとともに、標準化し、教員の校務作業における負担軽減を図ります。

#### 【内容】

名簿情報等の学籍管理、出欠情報等の管理、通知票・指導要録・調査書等の成績管理、健康診断票等の保健管理などの校務作業を校務支援システムで行います。情報は、センターサーバーで管理を一元化することにより、共有化が可能となります。

#### 【効果】

- ・校務作業に従事する時間を削減することにより、授業準備や児童生徒と向き合う時間を増やし、教育の質の向上を図ります。
- ・校務作業の標準化により、市内での人事異動において、校務作業における教員の負担軽減を図ります。
- ・名簿情報や出欠情報等を複数の帳票に自動的に引用することが可能となり、これまで手作業により複数回転記を行っていた作業が必要なくなり、効率化が図られるとともに作業ミスを防止できます。
- ・児童生徒の様々な情報の管理が一元化され、教員間で共有されることにより、きめ細かい指導ができます。
- ・教員の時間外勤務を削減する効果があります。

### 2 特徴やPRポイント

教員の働き方改革を進めるにあたり、教員の負担軽減を図り、労働環境を改善することが、結果として教育の質の向上につながると考えます。

校務支援システムの導入は、教員の校務作業の効率化を可能とするものであり、効率化により削減された時間が授業準備や子どもたちと向き合う時間となり、教育の質の向上につながります。

また、労働時間削減の効果もあり、教員の心身の健全化に寄与します。

### 3 その他

※ 資料の有無（ 有 ・ 無 ）

担当者

教育委員会

学校教育課

担当

田口 清和

連絡先

TEL 048-524-1111

内線

385



熊谷市

## 記者クラブ取材情報（予算関連）

＜速報＞  
平成30年度当初予算(案)概要  
平成30年2月14日発表

事業の名称等

個店連携応援事業

### 1 事業概要

#### 【目的】

今後の担い手として期待される「やる気のある」個店の連携活動を応援し、魅力ある商業都市熊谷を目指します。

#### 【内容】

①近年、市内の小売業等の店舗数も減少傾向であり、今後も都市間競争が予想される中、「商業者の多彩なネットワークをつなげていく場」「商業者が自分のネットワーク内では解決できない課題を明らかにして新たな価値を創造する場」を創出することが必要であることから、「若手商業者ミーティング（意見交換会）」を開催します。また、その事業展開を応援します。

②市内に店舗を有する商業者3者以上が連携して行う事業（情報発信事業、共同販促イベント、共同で新商品開発等）に対し、事業費の1/2以内で上限50万円を助成します。

#### 【効果】

平成29年度に商業振興事業の中で個店連携事業を推進してきました。商店街組織ではなく商業者グループへの支援に想像以上の反響があり、平成30年度は事業を独立・拡大しました。

また、市内には元気でやる気のある、熊谷愛にあふれた若手の経営者が大勢いますが、今までの商業振興支援策は商店街活動を中心としていたため、その声に気付いていませんでした。将来を担う経営者同士が結び付き、行動を起こせば、市内の他商業者に励みと刺激を与え、商業全体の活性化につながります。

### 2 特徴やPRポイント

#### ・オーダーメイド型支援

「若手商業者ミーティング」で、若手経営者や後継者が意見を出し合い、連携して生み出す事業があれば、積極的にオーダーメイド型で応援します。

例えば、大小イベント、勉強会、大名刺交換会等「こんなのやったらおもしろいんじゃない？」の実現を一緒に目指します。

昨年11月に、アズ熊谷内のカフェ「クマガヤ プレイス」オープンスペースにて第1回を開催し参加者から好評を得たところですが、今後も庁内の会議室ではなくメンバー自身の店舗等多様な場所での開催とします。

### 3 その他

#### ・「若手商業者ミーティング」は組織ではないため代表者はいません。

メンバーは、パブリックダイナー、ホシカワカフェ、山本美創、ウスキングベーグル等まちなか20店舗の経営者及び後継者です。

・会議の連絡等にはスマホアプリの「ライン」や出欠管理ツールの「調整さん」にて調整しています。※2月22日（木）に同ミーティング開催（記者クラブにプレスリリース予定）

※ 資料の有無（ 無 ）

担当者 産業振興部 商工業振興課 担当 福島、小谷  
連絡先 TEL 048-524-1111 内線 499



熊谷市

## 記者クラブ取材情報（予算関連）

&lt;速報&gt;

平成30年度当初予算(案)概要  
平成30年2月14日発表

事業の名称等

街路灯リニューアル支援事業

### 1 事業概要

#### 【目的】

ラグビーワールドカップ2019開催を目途に、平成29年3月から平成31年度までの3年間で、商店街の街路灯LED化及び老朽化した街路灯の更新を集中して支援し、安心・安全で明るい商店街にします。

#### 【内容】

熊谷市街路灯リニューアル支援事業補助金交付要綱に基づき、商店街の街路灯LED化及び老朽化した街路灯の撤去をした商店街等へ経費の9割を補助します。

#### 【経過】

平成29年度は、当初見込んでいた商店街以外からも申請が有り、補正予算で増額し対応しました。

#### 【影響】

街路灯をLED化することで、商店街の灯りが保たれ、治安を維持し、快適な商店街づくりが期待されます。

#### 【効果】

街路灯をLED化することで、電気料金の負担軽減が図られ、街路灯維持・継続の意思が高まります。

### 2 特徴やPRポイント

・補助率が高い為、反響が大きく、多数の商店街等の整備を支援し、市街地はおおむね整備が完了します。  
平成30年度の整備を含め、同要綱(9/10補助)に基づく整備は24団体となる予定です。

### 3 その他

※ 資料の有無( 無 )

担当者	産業振興部	商工業振興課	担当	成田
連絡先	TEL048-524-1111		内線	499



熊谷市

## 記者クラブ取材情報（予算関連）

&lt;速報&gt;

平成30年度当初予算(案)概要

平成30年2月14日発表

事業の名称等

聖天山歴史探訪トイレ整備事業

### 1 事業概要

#### 【目的】

妻沼聖天山は、平成24年「歓喜院聖天堂」の国宝指定以来、多くの参拝者が来訪していることに加え、2019年のラグビーワールドカップ開催に伴い海外からの観光客の増加も見込まれることから、老朽化している聖天山駐車場内トイレ（歴史探訪トイレ）の建て替えを行います。

#### 【内容】

平成7年に建設した歴史探訪トイレ2棟（駐車場内、おまつり広場）のうち、特に老朽化の激しい1棟（駐車場内）を解体し新設します。

#### 【効果】

利用者のために清潔で使いやすい観光トイレを整備することで、妻沼聖天山と熊谷市のイメージアップにつながります。

### 2 特徴やPRポイント

- ・あらゆる利用者を想定し、ユニバーサルデザインのトイレとします。
- ・男性用（大2、小4）・女性用（6）の他に、多機能トイレを設置します。（大便器は洋式トイレ）
- ・デザインは、境内の景観に配慮します。

### 3 その他

※ 資料の有無（ 有 ・ **無** ）

担当者 総合政策部 スポーツ観光課 担当 島村・徳田  
連絡先 TEL 048-524-1111 内線 391



熊谷市

## 記者クラブ取材情報（予算関連）

＜速報＞  
平成30年度当初予算(案)概要  
平成30年2月14日発表

事業の名称等

観光駐車場整備事業

### 1 事業概要

【目的】

中心市街地へアクセスの良い場所に観光駐車場を整備することにより、観光客の誘致を目指します。

【内容】

東部体育館南側敷地（熊谷駅から約2km）を活用して、大型観光バスが10台駐車できる駐車場を整備します。

【影響】

観光駐車場の整備を行うことで、市街地で開催されている多くのイベントに観光客を呼び込むことが可能となります。

また、市街地宿泊施設の団体客受け入れに対して、需要が見込まれます。

【効果】

バス駐車台数：最大10台

年間見込み：100台

1台あたりの乗車人数（見込み）：40人

年間利用者：40人×100台＝4,000人

### 2 特徴やPRポイント

・中心市街地には大型バスを駐車できるスペースがないため、整備を行うことで、熊谷駅利用以外の団体の観光客の増加が期待できます。

・ラグビーワールドカップ2019開催に見据え、試合観戦後、観光客に市街地で昼食や観光を楽しんでいただくため、中心市街地の近くにバスと止められるち駐車場を整備します。

・当面の間、利用料は無料とします。

### 3 その他

※ 資料の有無（ 有 ・  無 ）

担当者

総合政策部

スポーツ観光課

担当 島村・水野

連絡先

TEL 048-524-1111

内線 391



熊谷市

## 記者クラブ取材情報（予算関連）

＜速報＞  
平成30年度当初予算(案)概要  
平成30年2月14日発表

事業の名称等

総合交通体系整備促進事業

### 1 事業概要

#### 【目的】

公共交通の充実を図り、高齢者の免許返納などに対応するため、市内循環バス「ゆうゆうバス」の利便性を向上します。（平成30年10月実施予定。）

#### 【内容】

- 1 ゆうゆうバスの輸送力増強
  - ① グライダーワゴンの導入  
現状のバス7台にワゴン車1台を導入し、輸送力増強を図ります。
  - ② 時刻表の見直し  
バスの運行を効率化し、便数の増及び運行時間の短縮を図ります。
- 2 ゆうゆうバスの利便性向上
  - ① バスロケーションシステムの導入  
スマートフォンやパソコンでバスの運行状況がわかるシステムを導入します。
  - ② 屋外表示機の設置  
熊谷駅南口、籠原駅南口バス停に、バスの接近や通過がわかる屋外表示機を設置します。

### 2 特徴やPRポイント

- 1 便数の増（現状60便/1日を10便程度増便）
  - ① 籠原駅～三ヶ尻・大麻生～熊谷駅区間 8便→16便 に倍増します。（さくら号）  
朝夕は、2往復、昼間は2時間に1往復程度の運行が可能になります。  
さくらめいとの利用がより便利になります。
  - ② 妻沼地域 10便→15便 に1.5倍増します。（グライダー号+グライダーワゴン）
  - ③ 熊谷駅～久下・佐谷田～上之荘区間 6便→9便 に1.5倍増します。（ムサシトミヨ号）  
上之荘、熊谷外科病院の利用がより便利になります。
- 2 運行時間の短縮
 

例 妻沼行政センター～スポーツ文化公園～熊谷駅  
現状 1時間32分→1時間6分（26分の短縮・グライダー号）  
快速運転により停車しないバス停は、グライダーワゴンできめ細かく対応します。  
グライダーワゴンは、妻沼行政センターや西野などで路線バスに結節します。
- 3 バスロケーションシステムの導入
  - ・コミュニティバスへの導入は、上尾市、深谷市に続いて県内3番目となります。
  - ・バスの現在地や到着時刻が把握できるため、待ち時間の心配が解消されるとともに、雪や台風などによるバスの遅延にも対応できます。
- 4 バス停に屋外表示機を設置
  - ・スマートフォンをもっていなくても、バス停にしながら、バスの接近や通過がわかります。

### 3 その他

ラグビーワールドカップ2019の開催に向け、熊谷スポーツ文化公園行きの路線バスにも、バスロケーションシステムを導入します。（バス事業者・国際十王交通(株)に補助金交付。）

※ 資料の有無（  有 ・  無 ）

担当者 総合政策部  
連絡先 TEL 048-524-1111

企画課

担当 齋藤 西村  
内線 215





熊谷市

## 記者クラブ取材情報（予算関連）

＜速報＞  
平成30年度当初予算(案)概要  
平成30年2月14日発表

事業の名称等

保育所管理運営経費(保育コンシェルジュ)

### 1 事業概要

【目的】

保育コンシェルジュによる丁寧な相談と情報提供を行い、多様な保育サービスにつなげるとともに待機児童の解消を目指します。

【内容】

保育課窓口において、保育に関する相談に応じ、個別ニーズの把握をもとに、保育所のみならず幼稚園・ファミリーサポートセンター等の情報も含め、希望に合った情報提供・集約、多様な選択肢の提示等を専門に行う、保育コンシェルジュを常時配置し、利用者支援を行います。

【経緯】

平成29年6月、国は「子育て安心プラン」として『平成32年度末までに待機児童解消』と『平成34年度末までに女性就業率80%』を掲げ、「寄り添う支援」の普及促進策として「保育コンシェルジュ」による支援を推進しています。

【影響・効果】

丁寧な相談と情報提供を行うことで、より個々の希望に応じた支援が可能となります。  
また、平成30年度から全面適用となる待機児童新定義においても、より丁寧な説明が必要となっており、これに沿った対応ができます。

### 2 特徴やPRポイント

・国が推進する子育て政策の最前線に位置する事業を実施します。

### 3 その他

※ 資料の有無( 有 ・  無 )

担当者	福祉部	保育課	担当	浅見
連絡先	TEL 524-1111		内線	537